

町田市子どもの発達支援に関する調査

【関係機関の皆様へ(管理者)】

《ご記入にあたって》

- 回答は貴施設における子どもの発達支援の状況についてご記入ください。
- 回答にあたっては、2023年4月1日時点の状況でご記入ください。
- 答えられない質問には、お答えいただかなくてもかまいません。
- ご回答いただいた内容は統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。

《ご返送にあたって》

本調査は、パソコンやスマートフォンなどからもご回答いただけます。

(1) パソコンやスマートフォンなどから回答する場合

- 次のURL、または右のQRコードにアクセスいただくとWEBからの回答が可能です。下記の個別のIDとパスワードを入力し、表示に従って回答を入力してください。
- この方法でご回答された方は、紙の調査票をご返送いただく必要はございません。



ID: ●●●● パスワード: ●●●●●●

【URL: <https://rdc.dstyleweb.com/88fe/yyjkjj/>】

(2) 紙の調査票(この冊子)から回答する場合

- 回答は、あてはまる項目の番号を○印で囲ってください。「その他」の場合は、()内にその内容などをご記入ください。
- 調査票へのご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒に調査票を入れ、期日までにお近くの郵便ポストへ投函してください。切手は必要ありません。

どちらの方法でも**2023年7月21日(金)**までにご回答・ご返送ください。

【お問合せ先】 調査受託会社:株式会社 日本能率協会総合研究所

フリーダイヤル:0120-550-156

(受付時間:月～金曜の10～17時(祝日・12～13時除く))

メールアドレス: fir2@jmar.co.jp

貴施設の基本的な事項について

【全ての方にお伺いします】

問1. 貴施設の種類をお答えください。

【〇は一つだけ】

11.8%. 認定こども園	24.7%. 小学校
40.9%. 認可保育所	15.1%. 中学校
7.5%. 幼稚園	0.0%. その他 ()

【問1で「1」～「3」を選択した方にお伺いします】

問2. 貴施設の運営主体について、あてはまるものを選択してください。【〇は一つだけ】

80.4%. 社会福祉法人などの民営	17.9%. 町田市
--------------------	------------

【問1で「4. 小学校」・「5. 中学校」を選択した方にお伺いします】

問3-1. 貴施設の特別支援学級・通級指導学級（拠点校）の有無について、あてはまるものを選択してください。【〇は一つだけ】

78.4%. ある	21.6%. なし
-----------	-----------

【問3で「1. ある」を選択した方にお伺いします】

問3-2. 貴施設の特別支援学級・通級指導学級（拠点校）の内容について、あてはまるものを選択してください。【あてはまるもの全てに〇】

固定級	通級指導学級（拠点校）
58.6%. 知的障がい	0.0%. 弱視
20.7%. 自閉症/情緒障がい	6.9%. 難聴
0.0%. 肢体不自由	3.4%. 言語障がい
	65.5%. サポートルーム

貴施設における児童・生徒への対応状況

※この調査において、『いわゆる「気になる子」』は、以下の表で例示する気になる特徴を示し、育ちの面において、個別的な支援が必要と思われる児童・生徒のことです。以下、「気になる子」と言います。

気になる子の特徴の例

- ・ 人との関わり方（一人遊びが多い、集団に入らない など）
- ・ ことば（言葉が遅い、おうむ返し など）
- ・ 想像力・こだわり（相手が傷つくことをいう、こだわりが強い など）
- ・ 注意・集中（落ち着かない、集中力が低い など）
- ・ 感覚（雷や大きな音が苦手、極端な偏食、すき間など狭い空間を好む など）
- ・ 運動（床に寝転がることが多い、極端に不器用 など）
- ・ 理解（生活習慣が身につかない、指示が理解できない など）
- ・ 情緒・感情（注意されるとかっとなりやすい、感情が高まると興奮がおさまらない など）

【改めて全ての方にお伺いします】

【なお、問1で「4. 小学校」・「5. 中学校」を選択した方は、問4～問12において通常の学級を想定してご回答ください】

問4. 貴施設に、気になる子はいますか。

【〇は一つだけ】

- 96.8%. いる
- 1.1%. 現在はいないが、過去3年間に在籍していたことがある
- 1.1%. 現在も、過去3年間も在籍していたことがない

【問4で「1. いる」を選択した方にお伺いします】

問5. 気になる特徴に「気づいたきっかけ」として、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに〇】

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 97.8%. 担任の職員・教員からの相談 | 11.1%. 健診のときの嘱託医からの情報提供 |
| 64.4%. 保護者からの相談 | 2.2%. 学童保育クラブからの情報提供 |
| 8.9%. 他の児童・生徒の保護者からの相談 | 13.3%. その他（ ） |
| 44.4%. 担当外の職員・教員からの相談 | 0.0%. わからない |

【改めて全ての方にお伺いします】

問6. 気になる子に対する貴施設の支援体制についてあてはまるものをお選びください。

【〇は一つだけ】

- 45.2%. 全ての気になる子に支援を行っている
- 47.3%. 支援を行っているのは一部の子どもだけ
- 5.4%. 気になる子に対する支援を行えていない

【問6で「1」「2」（支援を行っている）を選択した方にお伺いします】

問7. 行っている支援内容について、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに○】

- 93.0%. 保護者に施設・学校での生活状況を、他の子どもよりも丁寧に伝えている
- 77.9%. 保護者に当該児童・生徒に適していると思われる支援制度を紹介している
- 82.6%. 保護者に専門機関への相談を促している
- 24.4%. 当該児童・生徒の担当職員を明確にしている
- 45.3%. 保育士・教諭から専門機関に対応方法を相談している
- 52.3%. 当該児童・生徒および保護者と定期的な個別面談を行っている
- 8.1%. その他（)

【問6で「3」（支援を行えていない）を選択した方にお伺いします】

問8. 支援を行えていない理由について、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに○】

- 40.0%. 保護者や当該児童・生徒が、支援を必要としていない
- 60.0%. 個別支援の必要性を判断することが難しい
- 40.0%. 気になる子に対する対応・支援の方法がわからない
- 20.0%. 専門機関と連携をとることができない
- 80.0%. 対応するための人的余裕がない
- 20.0%. 当該児童・生徒のアセスメントが十分でない
- 20.0%. その他（)

【問1で「1. 認定こども園」「2. 認可保育所」「3. 幼稚園」を選択した方にお伺いします】

問9. 貴施設では、障害者手帳等を持っている児童を受け入れる体制がありますか。

【○は一つだけ】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 62.5%. ある | 26.8%. 現在はなく、今後も整備予定はない |
| 3.6%. 現在はなく、3年以内に整備予定 | |

【改めて全ての方にお伺いします】

問10. 障害者手帳を持っている児童・生徒を受け入れるにあたっての課題として、あてはまるものをお選びください。 【あてはまるもの全てに○】

22.6%. 対象となる児童・生徒の入園・入学の申し込みがない

61.3%. 対応・支援を実施するための人的余裕がない

31.2%. バリアフリーなどの設備が整っていない

17.2%. 当該児童・生徒への対応・支援方法がわからない

16.1%. 他の児童・生徒への影響が想定できない

32.3%. 専門機関とのつながり・連携が十分でない

26.9%. 入園・入学前の当該児童・生徒の情報が不十分

7.5%. その他 ()

問11. 貴施設には、発達障がいの診断を受けている児童・生徒がいますか。

【○は一つだけ】

71.0%. いる

8.6%. いない

20.4%. 診断の有無はわからないが、特徴が合致する児童がいる

問12. これまでの3年間に、入園・入学後に発達障がいの診断が出た児童・生徒はいましたか。 【○は一つだけ】

81.7%. いた

16.1%. いない

【問1で「3. 幼稚園」を選択した方（幼稚園に所属されている方）にお伺いします】

問13. 貴施設では、医療的ケアの必要な児童を受け入れる体制がありますか。

【〇は一つだけ】

0.0%. ある	100.0%. 現在はなく、今後も整備予定はない
0.0%. 現在はないが、3年以内に整備予定	

問14. 過去3年間に、医療的ケアの必要のある児童の入園の申し込みがありましたか。

【〇は一つだけ】

14.3%. あった	0.0%. わからない
85.7%. なかった	

【問14で「1. あった」を選択した方にお伺いします】

問15. 申し込みに対してどのように対応しましたか。

【〇は一つだけ】

0.0%. 全ての児童を受け入れている	0.0%. 全て断っている
100.0%. 医療的ケアの内容等で判断している	

【問15で「2. 医療的ケアの内容等で判断している」を選択した方にお伺いします】

問16. 受け入れが困難なケアの内容について、あてはまるものをお選びください。

【あてはまるもの全てに〇】

0.0%. 人工呼吸器管理	0.0%. 経管（経鼻・胃ろう含む）
0.0%. 気管内挿管・気管切開	0.0%. 腸ろう・経管栄養
0.0%. 鼻咽頭エアウェイ	0.0%. 継続する透析
0.0%. 酸素吸入	0.0%. 定期導尿
0.0%. 吸引	0.0%. 人工肛門
0.0%. 吸入（ネブライザー）	0.0%. その他（ ）
0.0%. 中心静脈栄養（IVH）	100.0%. 決まっているものは特になし

専門機関との連携状況

【改めて全ての方にお伺いします】

問17. 発達の遅れや障がいがある児童・生徒への対応について貴施設ではどのような専門機関と連携していますか。 【あてはまるもの全てに○】

1.1%. 大学・研究機関	12.9%. 保健所
61.3%. 子ども家庭支援センター	53.8%. 教育センター
29.0%. 児童相談所	2.2%. 障がい者支援センター
46.2%. 医療機関	6.5%. その他（ ）
64.5%. 子ども発達センター	2.2%. 特に連携している専門機関はない

【問17で「10. 特に連携している専門機関はない」と回答した方にお伺いします】

問18. 専門機関と連携していない理由として、あてはまるものをお選びください。 【あてはまるもの全てに○】

0.0%. 連携しなくても自施設の職員で対応できるため
50.0%. 対応・支援を実施するための人的余裕がない
50.0%. 連携できる専門機関が近くにない
50.0%. どのように連携すればよいかわからない
50.0%. その他（ ）
0.0%. 特に理由はない

【改めて全ての方にお伺いします】

問19. 専門機関と連携する際に、どのような連携が必要だと思いますか。最も重要だと思っ
ものをお選びください。 【○は一つだけ】

11.8%. 支援計画や指導計画の作成への参加
38.7%. 保護者や家庭へのアプローチに対する助言
37.6%. 気になる特徴についての医学的・専門的な助言
1.1%. 気になる特徴に対する専門的な研修会等の実施
7.5%. 障がい等の理解のための、他児や他児の保護者への意識啓発
2.2%. 入園・入学前の支援計画とその記録の共有
0.0%. その他（ ）

町田市の障がい児施策について

【改めて全ての方にお伺いします】

問20. 今後、障がい児に関する施策を進めていくにあたって、町田市はどのようなことを充実させていけばよいか、各項目の優先度についてお答えください。 【〇はそれぞれに一つずつ】

	優先度が 高い	やや優先 度が高い	やや優先 度が低い	優先度が 低い
【記入例】 福祉サービスの情報提供の充実	1	②	3	4
福祉サービスの情報提供の充実	23.7%	53.8%	15.1%	2.2%
子どもの発達に関する相談体制の充実	77.4%	15.1%	3.2%	1.1%
相談窓口の対応力の向上	49.5%	40.9%	6.5%	0.0%
障がい特性や発達の遅れに関する市民の理解促進	20.4%	43.0%	28.0%	4.3%
障がい特性や発達の遅れに関する保護者への情報発信	43.0%	43.0%	9.7%	0.0%
保育・教育に関わる人材の対応力の向上	54.8%	34.4%	4.3%	1.1%
保育園・幼稚園等の医療的ケア児の受入強化	8.6%	36.6%	46.2%	5.4%
学校の医療的ケア児の受入強化	14.0%	31.2%	47.3%	3.2%
福祉サービス事業所の数や定員数の確保	26.9%	50.5%	16.1%	2.2%
福祉サービス事業所の職員の対応力の向上	34.4%	46.2%	14.0%	0.0%
子どもに関係する機関の連携強化	59.1%	28.0%	7.5%	1.1%
高校卒業後の居場所の確保	28.0%	50.5%	18.3%	0.0%
保護者の子育て・介護負担の軽減	29.0%	57.0%	10.8%	0.0%
障がいなどがある子どものきょうだいへの支援の充実	17.2%	55.9%	22.6%	2.2%
子どもが参加できる地域行事の充実	4.3%	47.3%	40.9%	4.3%
市街地や公共施設のバリアフリーの拡充	24.7%	57.0%	14.0%	1.1%
子どもの意見を踏まえたまちづくり	11.8%	51.6%	30.1%	3.2%

【改めて全ての方にお伺いします】

問21. 「子ども発達センター」は、2028年度以降に現在の「教育センター」（町田市木曽東3-1-3）の敷地内に設置を予定している複合施設（（仮称）子ども・子育てサポート等複合施設）へ移転する予定です。複合化された後の「子ども発達センター」に求めるものについてあてはまるものをお選びください。 【あてはまるもの全てに○】
※運営は民間活力の導入を予定しています。

- 75.3%. 複合施設内で他のサービスとの連携が図れていること
- 82.8%. 職員・スタッフが充実していること
- 54.8%. これまでよりも窓口やサービスの申請方法がわかりやすくなっていること
- 76.3%. 障がい児が利用しやすい環境であること
- 47.3%. 施設へのアクセスがしやすく、駐車場が確保されていること
- 60.2%. 医療支援体制が充実していること
- 28.0%. 地域の方との繋がりがあること
- 12.9%. 地域や市民に施設の一部が開放されること
- 3.2%. その他（ ）
- 0.0%. 特に求めるものはない

問22. 発達の遅れや障がいがある児童・生徒の保育・教育等で工夫していることやご意見・ご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

調査へのご協力ありがとうございました。
7月21日（金）までに、同封の返信用封筒によりご返送ください。